

所属・氏名（ 健康科学部 医療福祉学科 氏名：渡辺 晴子 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 日本ソーシャルワーク教育学 校連盟編 『ソーシャルワーク演習(社会 専門)』	共著	2021 年 2 月	中央法規出版	著書全体の概要:「最新 社会福祉士養成講座」全 29 巻の 1 冊である。事例演習を通じた段階的なコンピテンシーの習得を目的としている。 (総ページ数:320 頁) (著書全体の著者名:鶴浦直子、所めぐみ、野村裕美、渡辺晴子、他 5 名) 担当部分の概要:「第 1 章第 1 節 社会福祉士養成における演習の意義と目的」では、「ソーシャルワーク演習(専門)」のねらいと学習内容をふまえて、本書の特徴であるコンピテンシーを基盤とした学習およびアクティブ・ラーニングによる事例演習の学び方を解説した。 「第 3 章第 1 節 地域における社会的孤立への気づきと生み出す支援のあり方を考える」では、社会的孤立の問題をミクロ・メゾ・マクロの視点から捉え、本人や家族だけでなく、周囲の地域住民や関係する専門職を巻き込みながら、地域における問題解決のあり方を模索することができるソーシャルワーク実践能力の習得を目指して、事例演習を展開した。 (担当ページ:pp.2～6、pp.60～93、単著)
2	(著書) 牧里毎治・川島ゆり子編著 『持続可能な地域福祉のデザインー循環型地域社会の創造ー』	共著	2016 年 12 月	ミネルヴァ書房	著書全体の概要:循環型地域社会の創造に向けて、地域福祉システムを形成するデザインとしての地域福祉計画および地域社会に働きかける方法のデザインとしてのコミュニティワークのあり方について考察を重ねたものである。 (総ページ数:298 頁) (著書全体の著者名:牧里毎治、川島ゆり子、渡辺晴子、他 14 名) 担当部分の概要:「第 7 章 小地域福祉活動と社会福祉協議会コミュニティワーカー 中山間地域型ー」を担当した。中山間地域、特に島嶼地域における社協コミュニティワークの実践事例にもとづき、地域再生に対する地域組織化アプローチ「地縁型組織の活性化」「テーマ型組織の育成」「人・情報交流の促進」「『新住民』定着の支援」を検討するとともに、結論として地域再生に向けたコミュニティワークの可能性を示した。 (担当ページ:pp.135～151、単著)
3	(学術論文) 「住民の主体形成を促進する コミュニティワーク記録ー『ワー カー行動記録』の分析結果か らー」 《筆頭論文》	単著	2019 年 3 月	『広島国際大学 医療福祉学科紀要』 (広島国際大学) 第 15 号 43～57 頁	論文全体の概要:住民の主体形成に関する優れたコミュニティワーク実践を事例として、住民およびコミュニティワーカーに対するインタビュー調査結果と比較しながら、コミュニティワーカーによるコミュニティワーク記録の焦点を明らかにするとともに、住民の主体形成を促進するコミュニティワークのあり方について検討した。結論として、住民の主体形成を促進するコミュニティワーク記録の焦点は、「住民の参加と主体性」の発展にもとづく、住民との協働および専門職や住民組織との連携の推進にあることを示した。 (当該論文のページ数:15 頁) (当該論文の著者名:渡辺晴子)